

■ 2021年2月の行事案内 ■

観察会と自然復元管理作業

* 気象条件等により変更する場合がありますので事前にお問い合わせください。

活動日

2月6日(土) 2月21日(日) 3月6日(土)

季節を感じる観察会：10:00～12:00

自然復元管理作業：13:00～15:30

場所：旧水産試験場管理センター前集合

参加費：1000円(保険料代)

持ち物：帽子・タオル・お飲み物・着替え等
(動きやすく汚れても良い動きやすい服装で！)

■ NPO 法人水元ネイチャープロジェクト 入会案内 ■

みなさんも私たちと一緒に水元の自然について考え、保全活動に参加してみませんか？

NPO 法人水元ネイチャープロジェクトでは、活動の趣旨に賛同いただける方の入会をお待ちしています。

<一般会員> 入会金：2,000円 年会費：2,000円

一般会員は、法人の社員となります。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など、会の基本的な運営に参加していただけます。

<賛助会員> 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員は、法人などの団体会員です。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など会の基本的な運営に参加していただけます。

<どろんこ会員> 入会金：無料 年会費：1,000円

どろんこ会員は、サポート会員です。会の事業に参加でき、総会等に参加する必要はありません。

<行事案内・入会に関してのお問い合わせ>

NPO 法人水元ネイチャープロジェクト

<http://mizumoto-np.topaz.ne.jp/home.html>

とんぼ 秋津

2021年2月号

秋津(あきつ)とは、
トンボの古い呼び名。
そして日本は昔、
「秋津島」と呼ばれていました。



<2月>

種名：オオミノガ

学名：*Eumeta variegata*

よしえ画

オスの開長は35mmでメスは翅をもたない。本州～沖縄に生息し、成虫は6～7月と9～10月頃に出現する。幼虫の食餌植物はバラ科、クルミ科、ブナ科、クワ科である。日本で最も大きなミノムシで、1990年以前は一般的に観察できる昆虫であったが、中国から侵入したオオミノガヤドリバエに高頻度で寄生され絶滅に瀕している。

NPO 法人 水元ネイチャープロジェクト

復元ゾーンの生き物たち



<令和3年1月観察記録（主な生物）>

○植物：フキ、スイセン、セイヨウタンポポ、ハルジオン、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、カラスノエンドウ(ヤハズエンドウ)、ノビル、コンフリー(ヒレハリソウ)、スズメノカタビラ、セリ、ナズナ、イモカタバミ、オオバコ、ギンギシ、イ、ミゾコウジュ、ヘラオオバコ、キュリグサ、フラサバソウ、タネツケバナ、ノゲシ、オニノゲシ、オニアザミ、ノボロギク、チカラシバ、ヨモギ、ハコベ、カタバミ、アメリカイヌホオズキ、ヒナタイノコズチ、ヘビイチゴ、カモジクサ、セイバンモロコシ、セイタカアワダチソウ、アカザ、ドクダミ、エノコログサ、アカツメクサ、カラスウリ、キカラスウリ、ハハコグサ、ウラジロチチコグサ、ヒメジソ、ニホンハッカ、チガヤ、イタドリ、オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、マツカサススキ、イヌガラシ、オオジシバリ、オニタビラコ、オオアカウキクサ、コシロネ、ヒヨドリショウゴ、クロモ、エビモ、イヌタヌキモ

○鳥類：アオサギ、オオバン、オナガ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、キジバト、コガモ、コサギ、シジュウカラ、スズメ、ダイサギ、ツグミ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒドリガモ、ヒヨドリ、マガモ、ムクドリ、モズ、ユリカモメ、ゴイサギ

○昆虫類：オオカマキリ（卵囊）、ナナホシテントウ、オオミノガ、ベニシジミ（幼虫）、カブトムシ（幼虫）、コクワガタ

○その他：カダヤシ、コイ、モツゴ、ゲンゴロウブナ、ギンブナ、カムルチー、ウシガエル、スジエビ、アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメ